

海外安全対策情報（令和元年7月～9月）

1 治安情勢と一般犯罪の傾向

(1) シカゴ市

シカゴ市警察が発表する統計によると、2019年第3四半期（10月13日現在）までの同市における主要犯罪（殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、自動車窃盗）の発生件数は合計**39,561件**となり、**前年同時期比で約10%減少**しました（一昨年同時期比でも減少）。主要犯罪の発生件数は以下の表のとおりです。

全体的には減少傾向ですが、強姦が増加していることから引き続き警戒が必要です。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安が劣悪なほか、中心部においてもひったくり等の犯罪が発生していることから十分な注意が必要です。

シカゴ市内における主要犯罪の発生数
（7月～9月まで10月13日現在，増加率は概数）

	2019年	2018年	増減率
殺人	403	454	-11%
強姦	1690	1636	+3%
強盗	6,166	7,554	-18%
重傷害	5,046	5,305	-5%
侵入窃盗	7,554	9,301	-19%
窃盗	11,581	11,770	-2%
自動車窃盗など	7,121	7,814	-9%
けん銃等の発砲	1707	1914	-11%

(2) 他の管内諸都市

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域には、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりするなど犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

2 シカゴ中心部の犯罪傾向

シカゴ市警察が発表している最近シカゴ中心部で発生している犯罪の特徴は以下の通りです。

- レストランで食事中，スマートフォンをテーブルに置いたままトイレに行き，その間にスマートフォンを盗まれる。
- 見知らぬ人に話かけられ，答えている間に他の仲間がスリを行う（主に若い黒人男性が使う手口）
- 人が多いエレベーターや回転扉で自分の降りる階や順番に気を取られている間にスリ被害に遭う。
- トイレの個室を使用中，個室内のフックに掛けたバッグ等を個室外側から手を入れられて盗まれる。
- ライドシェアを装い，夜間酔っ払いに近づいて乗車させ，クレジットカード等を盗む（使われる車は偽造したライドシェアのステッカーが貼られたりして本物と間違いやすくなっている）
- 多数の若者が街を徘徊しながら歩行者を襲撃して金品を奪う。

《シカゴ警察からの被害に遭わないためのアドバイス》

- カバンを持つときはたすき掛けにせず，利き手と反対側の肩に掛けて持つ。（たすき掛けにすると引き倒されて負傷する恐れがある。利き手の反対側の肩に掛けるのは利き手で攻撃に対する防御が出来る可能性があるため。但し犯人は武器を持っている可能性があるため原則抵抗はしない。）
- 電車やバスの座席に座る場合は荷物を自分の前に置く。
- 公共の場所で金品やスマートフォンを見せない，使用しない。
- ヘッドフォーンを装着したまま歩いたり，スマートフォンを使用しながら移動しない。
- 車，人通りが多い道を使用する。
- 外出する際は行き先，ルート，帰宅時間等を家族に伝えておく。
- 財布は後ろのポケットに入れず，前のポケットに入れる。
- 高級ブランド品，高価な宝飾品を持ち歩かない。
- 知らない人に自分の個人情報，家族等の情報を言わない。
- 家の鍵，車の鍵，財布をそれぞれ別に持つ，全て同じバッグに入れると全て同時に盗まれる恐れがある。
- エレベーターに乗る時，不審な人物が乗っていたら乗らない。